

第68回 研究発表大会（第一次案内）

滋賀県総合教育センターでは、本年度も、国の動向、県の課題を見すえた先進的・先導的な研究に取り組み、現在その成果をまとめております。この度、下記の日程で研究発表大会を開催いたします。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

■日程 令和8年2月13日（金）

9:00	10:00	10:15	12:00	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	16:30
受付	開 会 行 事	特 別 講 演	昼 食	研 究 発 表 Ⅰ		研 究 発 表 Ⅱ		研 究 発 表 Ⅲ	

※午後は、12:20より受付を行います。

■令和7年度研究発表一覧

*令和7年10月1日現在

研 究	対 象	教科・領域等	研 究 主 題*
派遣研究	小学校	国語科	■小学校国語科における自分の考えをまとめ、表現することができる児童の育成 －児童が主体的に対話を通じて交流したり、学びを振り返ったりすることを通して－
	小学校	算数科	■児童が学びをつなぎ、新たな気付きを生み出す授業づくり －小学校算数科における「授業改善シート」を活用した授業構想と授業評価を通して－
	中学校	特別支援教育	■中学校における「共に学ぶ」視点に立った授業づくり －特別支援学級での構想から実践、省察を校内で共有する取組を通して－
	特別支援学校	I C T 活用	■特別支援学校における子どもの可能性を引き出す I C T 活用のあり方 －実態に応じた指導・支援の充実と情報共有・校内連携を通して－
プロジェクト研究	小・中学校	子どもたちが主体となる授業づくり	■小・中学校における子どもが主体となる授業づくり －子どもが自らの学びを調整する機会の充実を通して－
	小学校	特別活動	■一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた小学校における特別活動を要としたキャリア教育のあり方 －「見通しを立て、振り返る」活動を重視した学級活動の実践を通して－
	小・中学校	不登校	■児童生徒が安心して学び、成長できる S S R のあり方 －社会的自立を見据えた切れ目のない支援を通して－
	高等学校	探究的な学び	■主体的に学習に取り組む態度を養う高等学校の授業改善 －地理歴史科、公民科における探究の過程を通じた学習活動の充実－
	研修観の転換に伴う探究型研修		■「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた探究型研修のあり方 －教職員一人一人の豊かな気付きを醸成する探究型研修デザインを通して－
特別研究			■科学的根拠を踏まえた児童生徒の見取りの実現 －教育データサイエンスに関する研修とIRTの知見を活用した学力調査の実施を通して－

滋賀大学教職大学院 滋賀大学教職大学院の現職教員学生による発表を予定しています。詳細は第二次案内にて御確認ください。

参加申込、大会要項の詳細等については、第二次案内（12月中旬発送予定）にてお知らせします。

■問合せ先 研究発表大会実行委員会事務局
Tel 077-588-2511 Fax 077-586-0011
E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp

令和7年度

第68回研究発表大会

特別講演

「深い学び」と探究 - デジタル学習基盤を踏まえて -

文部科学省 初等中等教育局 主任視学官

田村 学 氏



日時

令和8年(2026年) 2月13日(金)

午前10時15分～11時55分

場所

滋賀県総合教育センター

新館4階 研修室A

滋賀県野洲市北桜978-95 (TEL:077-588-2511)

新潟県公立小学校教諭、上越教育大学附属小学校教官、柏崎市教育委員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、國學院大学人間開発学部教授を経て、令和6年度より同省初等中等教育局視学官、主任視学官を務める。

この間、教職課程や教育実践の研究・指導に従事。学習指導要領の改訂、カリキュラム・マネジメント及び資質・能力の育成に関する理論と実践の研究に携わるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた全国的な研修・講演に尽力。

また、日本生活科・総合的学習教育学会前会長、中央教育審議会架け橋特別部会臨時委員、産業構造審議会臨時委員などを歴任し、教育現場と教育行政をつなぐ役割を担ってきた。専門分野としては、カリキュラム、教育方法、生活科・総合的な学習の時間などがあり、幼児教育施設から小学校・中学校・高等学校、特別支援学校に至るまで、全国各地の学校で指導助言を行ってきた実績をもつ。

著書『深い学び』(東洋館)、『探究モードへの挑戦』(人言洞)、『学習評価』(東洋館)、『思考ツールの授業』(小学館)、『深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント』(文溪堂)ほか多数。